

## 平成27年度 事業報告

平成27年度事業は、平成26年度第2回理事会（平成27年3月10日開催）において承認された「平成27年度事業計画及び収支予算」に基づき、里親制度の充実促進を図るため、次の事業を行った。

### [公益目的事業]

1. 里親制度に関する調査研究事業(公1)
2. 里親の育成事業(公2)
3. 里親制度の普及啓発事業(公3)
4. 里親に対する表彰事業(公4)
5. 里親制度及び里親会活動等に関する相談指導事業(公5)
6. 災害を受けた里親家庭及び児童等に対する支援事業(公6)

### [法人関係事業]

7. 一般管理事業
8. 関係機関団体との連絡調整事業
9. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

### [公益目的事業]

1. 里親制度に関する調査研究事業（虹センター委託事業）（公1）

里親委託の促進及び里親の養育を支援するための方策等について調査研究するため、社会福祉法人横浜博萌会子どもの虹情報研修センターとの業務委託契約により、全国里親委託等推進委員会(平成24年度設置)において、引き続き調査研究を行う。

#### 1) 調査研究テーマ

- ① 里親等実態調査
  - ・登録里親の状況
  - ・養育里親、専門里の状況
- ② 受託児童の状況（養育困難の事例等）
- ③ 里親リクルートに関する調査
  - 児童相談所の対応（新規登録里親が0の児相について聞き取り調査を実施5か所、人口に比較して登録が多かった児相 6か所）

#### 2) 実態調査の結果分析及び報告書等の取りまとめ等

- ① 全国里親委託等推進委員会の開催  
（調査内容…調査項目の検討、調査結果の分析）
- ② 里親が受託する子どもに関する調査の実施…里親等実態調査

各里親会を經由して調査票を配布、里親家庭において記入の上、調査票を回収した。

- ・ 里親家庭調査 配布 6,700部 回収 2,965部
- ・ 児童養育調査 配布 3,000部 回収 1,373部

- ③ リクルートに関する中間調査結果を受けて、本調査を実施した。
  - ・ 養育里親の新規登録が人口に比して多かった児相 6か所
  - ・ 新規登録がなかった児相 5か所
- ④ 調査結果の分析・検討
- ⑤ 調査研究報告書 3,800部を作成し配布した。

[配布先]

都道府県・市（児童福祉主管課）、児童相談所  
地域里親会、児童養護施設、乳児院等関係施設  
子どもの虹情報研修センター、  
その他（関係機関・大学、施設等）

## 2. 里親の育成事業(公2)

### 1) 里親に対する研修

里親会活動による里親支援や里親会の活動の活性化等に関する研修を実施する。

- ① 第60回全国里親大会の開催（公2、公3、公4）  
厚生労働省が提唱する「里親を求める運動」の期間（毎年10月1日～31日の1か月間）に10月24日（土）・25日（日）鹿児島県霧島市「霧島ロイヤルホテル」において全国里親大会を開催する。  
大会は、5年に1回開催する記念大会に当り、里親制度の進展に功労のあった関係者に対する厚生労働大臣の表彰の顕彰を行うとともに、基調講演、行政説明、分科会等を行った。
- ② 里親会代表者会議の開催
  - ・ 日時 10月24日（土）10時～12時
  - ・ 場所 霧島ロイヤルホテル
- ③ 女性代表者会議の開催
  - ・ 日時 10月23日（金）16時30分～18時
  - ・ 場所 霧島ロイヤルホテル
- ④ 里親会全体会の開催（一般会計）
  - ・ 日時 10月25日（日）11時30分～11時55分
  - ・ 場所 霧島ロイヤルホテル
- ⑤ 地区別里親研修会開催事業（日本財団助成事業）  
全国8ブロックにおいて開催し、里親制度の促進に功労のあった里親及び関係者の顕彰(公4事業)を行うとともに、里親が抱える様々な問題について

テーマごとに分科会等による検討会や里子の養育に関する諸問題についての研修を行い、里親の資質の向上を図るとともに、里親制度について一般に周知した(公3事業)。

ブロック別開催地等

地 区	開催予定日	開催地	参加者数
北海道	9月 6日	北広島市	300名
東北	7月18・19日	青森市浅虫	100
関東甲信越・静	7月11日	長野市	300
東海・北陸	6月 6・7日	黒部市宇奈月温泉	200
近畿	7月11日	堺市	260
中国	6月27・28日	広島市	500
四国	9月 6日	高松市	100
九州	10月24・25日	霧島市	300

⑥ 里親会リーダー研修 (SBI子ども希望財団 助成事業)

里親支援専門相談員と地域里親会の代表者(リーダー)をペアとする15組30人(東西30組60人)を対象に、協働して里親支援活動に取り組む実践研修を開催した。また、実践例を「里親支援ノート」として取りまとめ、各里親会及び児童養護施設等に配布した。

	東日本	西日本
・ 日 時	8月30・31日	9月18・19日
・ 場 所	新宿第45ルーム	布施駅前市民プラザ

⑦ 里親会女性リーダー養成事業 (フィリップモリス助成事業)

地域里親会における女性リーダーの育成及び活用に関するセミナーを開催した。

- ・ 東日本 (アワーズイン阪急) H28年 1月23・24日  
西日本 (鳥取県) H27年10月
- ・ 参加者 地区里親会女性会長、里親会運営に携わる役員、若手次期リーダー等(東日本 28人、西日本37人)

⑧ 「社会的養護経験者ユースの集い」の開催

(ユースの活動については、日本財団が東京養育家庭の会へ助成して実施されたが、全国里親会として協力。)

- ・ 東日本 平成27年 7月11日～12日 長野市
- ・ 西日本 平成27年10月24日～25日 鹿児島県霧島市
- ・ 参加者 社会的養護経験者 ユース 東日本 15名  
西日本 20名

⑨ 2015 IFCOシドニー世界大会への参加（日本財団助成事業）

・参加者登録費（里子3人分）

ユースの派遣（旅費滞在費等10人分は、東京養育家庭の会で実施）

3 里親制度の普及啓発に関する事業（公3）

1) 機関紙「里親だより」の刊行（日本財団助成事業）

里親に関する情報の提供、里親制度や養育上のQ&A、地区の活動状況の紹介などを編集し、会員等に配布する。

発行 年4回（5月、8月、11月、2月）

A4版、16頁

配布先 里親会、全国里親会会員、都道府県・市、児童相談所、  
乳児院、児童養護施設 その他（関係機関、団体等）

発行部数 各回 10,000部

編集委員会の開催 等

2) 里親リクルートのためのチラシの作成（楽天未来のつばさ財団助成事業）

里親リクルートのためのチラシを作成し、各県の注文に応じ児相等連絡先を追加印刷して各県において広く一般に配布することにより、里親制度の普及を図った。

3) 「月刊里親だより」（マンスリーニュース）の発行

毎月10日発行を目途に、トピックスを取り上げ、全国里親会メーリング、ホームページにより情報提供を行った。

4. 里親に対する表彰事業（公4）

第60回全国里親大会の開催（公2、公3、公4）

厚生労働省が提唱する「里親を求める運動」の期間（毎年10月1日～31日の1か月間）に10月24日（土）・25日（日）鹿児島県霧島市「霧島ロイヤルホテル」において全国里親大会を開催した。

大会は、5年に1回開催する記念大会に当り、里親制度の進展に功労のあった関係者に対する厚生労働大臣の表彰の顕彰を行うとともに、基調講演、行政説明、分科会等を行った。

5. 里親制度及び里親会活動等に関する相談指導事業（公5）

① ホームページの充実（管理・更新）等

全国里親会の活動状況、会員の動向・会員向けの情報提供サービス、地方里親会の事業の開催状況（開催時期や募集等）などリアルタイムで最新情報を提供した。

② メーリングリストによる情報交換、質疑応答、意見交換などの管理

③ 日本フォスターケア研究会(J a F C A)への協力

平成26年2月14日に発足した「日本フォスターケア研究会」(J a F C A)に対する研究発表会等への協力を行った。

## 6. 災害を受けた里親及び児童等に対する支援(公6)

東日本大震災の被災児童に対する支援を引き続き実施する。

1) 「東日本震災子ども救援基金」の募金活動を継続して行った。

2) 被災児童の支援(高校を卒業し、大学等への進学や就職した児童に対し1人10万円の祝金を6人に贈呈した。)

3) 岩手県里親会が被災児童を対象として行う、一泊旅行によるレスパイト事業(日蓮宗青年部事業)に対して一部費用を助成した。

第5回集まれ東北の子どもたちへの支援20万

4) 〈里親子キャンプ～里親と里子の集い〉の実施

宮城県なごみの会及び仙台市ほほえみの会が被災児童や里親を対象として行った里親子キャンプ等に対して経費の一部を負担した。

宮城県 1泊 参加者 100人(松島ホテル大観荘)

仙台市 さくらんぼ狩り(7月山形)約80人

クリスマス会(12月仙台)約120人

## 7. 関係機関・団体等との連絡調整

全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国児童家庭支援センター協議会等の関係団体との連絡を密にして、制度の推進と啓発及び周知徹底に努めるとともに、報道機関等への積極的な働きかけにより、国民一般への制度の周知と広報への協力を図った。

## 8. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

1) J X里親家庭奨学助成への協力

全国社会福祉協議会が、J Xホールディングス株式会社から寄付を受けて、里親家庭の委託児童や児童養護施設、母子生活支援施設の入所児童が大学や専門学校等に進学する場合、支度金の一部として10万円を助成しており、本事業に協力し、里親会会員等への周知や申請の取りまとめ、奨学金の送金等を行った。 申請91件 決定90件 金額9,000,000円

2) 里親賠償責任保険の代理業務

損害保険ジャパン日本興亜株式会社との契約により、里親会の会員を加入者とする「里親賠償責任保険」について、加入申請の受付や名簿の整理、保険料の徴収・精算などの事務処理を行った。

3) 厚生労働省への要望等

地域里親会や里親会会長会議等からの要望を取りまとめ、その実現が図られるよう、全国里親会として厚生労働省へ要望書を提出するとともに、地域里親会や里親等が有する課題解決のための情報の提供等緊密な連携を図り、里親制度の充実発展に寄与した。

4) 全国里親会運営委員会定例委員会の開催

定款第48条に定める委員会を設置し、事業の円滑な推進を図るとともに、懸案事項について定期的に検討協議した。

5) 全国里親会中長期ビジョンの策定（楽天未来のつばさ財団 助成事業）

平成27年度を始期とする「家庭的養護推進計画」の推進に当たり、全国里親会においても15年先の社会的養護、特に里親制度のあるべき姿を描き、「全国里親会中長期ビジョン」を策定した。

第1回	27年11月	4日
第2回	27年11月	26日
第3回	27年12月	24日
第4回	28年	2月26日

9. 寄付の状況

1) 使途の指定がない寄付金

北川 様	(大阪市)	13,000,000円
向井 様	(奈良市)	7,000,000円
小山 様	(市川市)	10,000,000円
春木 様	(大阪市)	1,000,000円
他	53件	1,428,231円
合計		32,428,231円

2) 災害支援のための寄付金(子ども救援基金)

一般社団法人	日本小額短期保険協会	1,000,000円
他	60件	1,448,620円
合計		2,448,620円